

茶室工事だより

Vol.3 正門・露地門・石畳解体工事

2023.4

茶室の耐震工事を実施するため、正門・露地門・石畳の解体工事を実施しています。

一度、解体しますが、最終的には復元いたします。

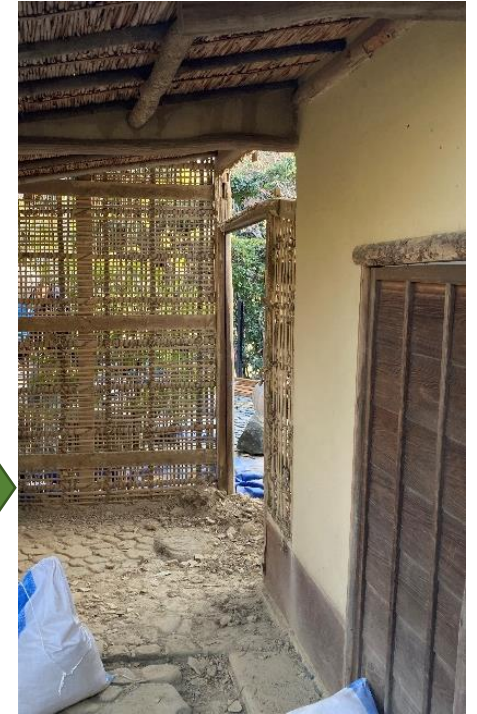
この正門は、茶室本体と同じく、登録有形文化財建造物に登録されています。



既に屋根の瓦や檜皮はめくられた後で、下地の板を一枚一枚、手で丁寧に解体しているところです。



露地(茶室)に出入りする門を「露地門」と呼びます。露地門の土壁を解体しているところで、土壁の中の骨組みが見えています。



少し見えにくいかもしれませんが、石畳の石、一つ一つに番号を付けています。

これは、元の状態に戻す際、現状の位置と同様に復元するために実施するものです。

時間と手間のかかる作業ですが、現場では丁寧な作業が続いています。